

①当共済組合全体の重点取組事項

疾病特性の区分	共済組合全体の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業（●） 支援金加減算対象	当共済組合全体の重点取組事項	支部で今後必要と考える事業	これまでの支部事業
生活習慣病 (タイプ1)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上 ・組合員等の利便を考慮した実施体制の整備及び周知 ・事業主健診の結果授受その他の事業者との間の事務を円滑に行うための所要の整備 ・個人に合わせた情報提供の拡充及び実施方法の工夫（必要に応じICTを活用） ・LDLとHbA1cについて優先的に改善 ・若年層に対し健康増進に寄与する事業を推進 	1-1	特定健康診査（事業主健診結果受領・人間ドック）	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を必要とする者を的確に選別すること。	●	○	○	○
		1-2	特定保健指導【1次予防】	対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行い、これを通じて生活習慣病に移行させないこと。（医療費の適正化）	●	○	○	○
		1-3	個別性の高い情報提供（ICTの活用を含む）【1次予防】	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけとなるよう意識づけを行うこと。（健康行動への意識づけ）	○	○	○	○
		1-4	生活習慣病に関する意識啓発【1・2・3次予防】	参加者が生活習慣病予防に関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そして生活習慣病予防に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。			○	
		1-5	医療機関の受診勧奨【2次予防】	対象者が健診結果から自らの健康状況を強く認識し、生活習慣病の早期治療の開始（医療機関の受診）や、生活習慣の改善行動に繋がるよう促すこと。（高額医療への発展リスクの低減/生涯医療費の抑制）	○		○	○
		1-6	重症化予防【3次予防】	既に治療を開始している対象者において、かかりつけ医と連携し、身体機能の維持に必要な自己管理の指導及び助言を行い、これを通じて慢性疾患の重症化や合併症の発症・再発を防止すること。	○		○	
		1-7	40歳未満に対する人間ドック・保健指導	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行うことで、40歳に到達したときにメタボリックシンドローム及びその予備群に該当しないこと。			○	

疾病特性の区分	対策の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業	事業目的	法定事業(●)支援金加減算対象	当共済組合全体の重点取組事項	支部で今後必要と考える事業	これまでの支部事業
(続き)	※今回、1-8～12について注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	1-8	運動習慣づくりの支援	運動施設の利用等を通じて、運動習慣を継続するための機会を提供すること。	○	○	○
		1-9	飲酒が健康に与える影響についての意識啓発	飲酒が健康に与える影響に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして節酒に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	
		1-10	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上	組合員等が広報等を通じてCOPDに関する知識を獲得し、自ら予防に取り組むよう誘導すること。		○	
		1-11	禁煙についての意識啓発	組合員等が禁煙に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして禁煙に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。	○	○	○
		1-12	禁煙支援	喫煙者に禁煙プログラムへの参加や禁煙外来の助成、禁煙補助薬の配付・助成を通じて、禁煙を開始させ、定着化させること。	○	○	○
悪性新生物(タイプ2)	・特に婦人がん検診の拡充	2-1	胃がん検診	胃がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-2	大腸がん検診	大腸がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-3	肺がん検診	肺がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-4	乳がん検診	乳がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○
		2-5	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○
		2-6	その他のがん検診	上記5大がん以外のがんの早期発見の機会提供を行うこと。	○		○
		2-7	がんに関する意識啓発	組合員等が婦人がんを始めとしたがんに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、また、がんの予防及び早期発見に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○
精神の疾病(タイプ3)	・法定のストレスチェック受検後のフォローアップに活用することを意識	3-1	メンタルヘルス相談	メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。	○	○	○
		3-2	メンタルヘルスに関する意識啓発	参加者(一般の組合員等/管理監督者)がメンタルヘルスカケアに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そしてメンタルヘルスカケアに自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○
		3-3	ストレスチェック(心の健康チェック事業)	メンタルヘルス不調の気付きを促すとともに、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげること。(ストレスチェックは事業者を実施義務があるため、共済組合はそれを支援する。)		○	○
歯の疾病(タイプ3)	※今回、歯科に注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	3-4	歯の喪失防止についての意識啓発	発生する年代・性別に応じて歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報発信及び保健物資の配付を行うこと。		○	
		3-5	歯科健診	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供を行うこと。	○		○
季節性疾患(タイプ3)	・重点取組事項ではないが、加減算の指標の1つである。	3-6	予防接種の実施	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施することで、感染予防を行うこと。	○		○
その他(共通)	・組合員等の年齢及び性別等に応じた効果的かつ効率的な事業	4-1	健康相談	心と身体全般に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。			○
		4-2	個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブ	健康に関する問題意識の喚起及び行動変容を実現するよう援助すること。	○	○	○
		4-3	職場環境の整備(コラボヘルス)の推進	組合員が保健事業に参加しやすい職場環境を醸成し、個々の組合員が健康づくりに自主的に取り組みやすい環境が職場において実現すること。	○	○	○

②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対応No	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者						事業予算 (29年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有 無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由
	No	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者/受診券を配布	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	7,412	被扶養者の受診率が低い	有	今後受診方法等検討する必要がある
	2	人間ドック	1-1	人間ドック受診(1日)費用の一部補助	共済・互助会	男女	すべて					75,112	コストが高い	有	希望者全員受診を見直す予定
	3	頭部MRI・MRA	1-1	検査費用の一部補助	共済	男女	35歳以上					11,500		有	
	4	採血検査	1-1	法定の採血検査の対象(事業主負担)外の組合員を対象に採血 検査を実施	共済	男女	40歳未満 (35歳除く)					1,178		有	
	5	骨密度検査	1-1	委託医療機関が各所属を訪問し検査を実施	共済	女	40歳以上					1,728		無	費用対効果が低いため廃止
	6	特定保健指導(個別契約)	1-2	保健指導を実施している業者と契約し、参加希望者に実施(受 診勧奨有・無/動機づけ・積極的に分けて、年度送付対象者に実 施)	共済	男女	40歳以上					18,665	認知度が低い	有	広報誌に掲載する
	7	特定保健指導	1-2	上記保健指導の送付対象者以外に、医療機関で利用できる利用 券を送付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上				認知度が低い	有	広報誌に掲載する
	8	健診結果個別通知	1-3	人間ドック・定期健康診断結果の受領後、健診結果を分かりやす く解説した冊子を本人に送付する。	共済	男女	40歳以上					1,100	認知度が低い	有	広報誌に掲載する
	9	ライフプランセミナー	1-4	ライフプランのなかで健康づくりを実施	県・共済・互助会	男女	すべて	男女	すべて			1,114	認知度が低い	有	広報誌に掲載する
	10	健康づくりセミナー	1-4	ヨガやエアロビック等の体験レッスンを実施	共済	男女	すべて					440		無	新規事業実施のため廃止
	11	受診勧奨【2次予防】	1-5	保健指導を実施している業者と契約し、対象者の受診勧奨を実 施	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上			-		有	
	12	健康・メンタルヘルス出前講座	1-8	組合員の健康づくり等の研修会を依頼のあった所属・部会・各教 育委員会ごとに実施	共済	男女	すべて					1,470		有	
	13	ウォーキンググランプリ	1-8	所属内でチームを作り、2か月間の歩数記録を競う。	共済	男女	すべて					2,070		有	
悪性新生物 (タイプ2)	14	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて				-		有		
	15	大腸がん(検便)検診	2-2	人間ドックの中で実施、定期健診受診者は別途実施	共済・互助会	男女	すべて				70		有		
	16	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	すべて				-		有		
	17	乳がん検診	2-4	人間ドックの中で実施	共済・互助会	女	すべて				-		有		
	18	子宮がん検診	2-5	人間ドックの中で実施	共済・互助会	女	すべて				-		有		
	19	前立腺がん検診	2-6	前立腺(P S A)検査実施	共済	男	50歳以上					1,000		有	
精神の疾病 (タイプ3)	20	教職員相談事業	3-1	組合員と被扶養者を対象に県内10か所の医療機関で無料で 相談を実施	共済	男女	すべて	男女	すべて			1,863		有	
	21	メンタルヘルス講習会	3-2	教職員が安心して働けるための職場づくりの推進を図るための研 修会	県・共済	男女	管理職					235		有	
	22	健康・メンタルヘルス出前講座	3-2	組合員のメンタルヘルスの研修会を依頼のあった所属・部会・各教 育委員会ごとに実施	県・共済	男女	すべて					1,470		有	
	23	心のセルフチェックシステム	3-3	自分自身のストレスが把握でき、心のセルフケアとして実施	共済	男女	すべて					-		有	
その他 (共通)	24	教職員健康相談24	4-1	健康医療などの相談に24時間対応	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	-		有	

④今後実施する事業（令和3年度以降）

健康課題	事業		必要と考えられる保健事業の対応No	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者					決算 (R2年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	既存/新規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項	
	No	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別					年齢
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者/受診券を配布	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	4,503	被扶養者の受診率が低い	既存	今後受診方法等検討する必要がある
	2	人間ドック	1-1	人間ドック受診（1日）費用の一部補助	共済・互助会	男女	35歳及び 40歳以上					50,006		既存	
	3	頭部MRI・MRA	1-1	検査費用の一部補助	共済	男女	40歳以上で 5年毎					7,490		既存	
	4	特定保健指導（個別契約）	1-2	保健指導を実施している業者と契約し、参加希望者に実施 (受診勧奨有・無/動機づけ・積極的に分けて、年度送付対象者に実施)	共済	男女	40歳以上					24,881	認知度が低い	既存	広報誌に掲載する
	5	特定保健指導	1-2	上記保健指導の送付対象者以外に、医療機関で利用できる利用券を送付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上				認知度が低い	既存	広報誌に掲載する
	6	健診結果個別通知	1-3	人間ドック・定期健康診断結果の受領後、健診結果を分かりやすく解説した冊子を本人に送付する。	共済	男女	40歳以上					5,475	認知度が低い	既存	広報誌に掲載する
	7	ライフプランセミナー	1-4	ライフプランのなかで健康づくりを実施	県・共済・互助会	男女	すべて	男女	すべて			935	認知度が低い（昨年度はコロナウイルス感染症により一部中止）	既存	広報誌に掲載する
	8	健康増進セミナー	1-4	生活習慣病などをテーマにセミナーを実施し、参加者にはヘルシー弁当の試食や 血圧測定、血管年齢測定を実施する。	共済	男女	すべて					0	（昨年度はコロナウイルス感染症により中止）	新規	
	9	受診勧奨【2次予防】	1-5	保健指導を実施している業者と契約し、対象者の受診勧奨を実施	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上			-		既存	
	10	健康・メンタルヘルス出前講座	1-8	組合員の健康づくり等の研修会を依頼のあった所属・部会・各教育委員会ごとに 実施	共済	男女	すべて					1,102	（昨年度はコロナウイルス感染症により、受講件数が減少）	既存	
	11	ウォーキンググランプリ	1-8	所属内でチームを作り、2か月間の歩数記録を競う。	共済	男女	すべて					1,638		既存	
	12	禁煙グランプリ	1-11	喫煙者を対象に独自に禁煙を開始させ、3か月以上の禁煙成功者に賞品を贈る。	共済	男女	すべて					0	（昨年度はコロナウイルス感染症により中止）	新規	
悪性新生物 (タイプ2)	13	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	35歳及び 40歳以上				-		既存		
	14	大腸がん（検便）検診	2-2	人間ドックの中で実施、定期健診受診者は別途実施	共済・互助会	男女	40歳以上				534		既存		
	15	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	共済・互助会	男女	35歳及び 40歳以上				-		既存		
	16	乳がん検診	2-4	検査費用の一部補助	共済	女	41歳以上で 2年毎					4,805		既存	
	17	子宮がん検診	2-5	検査費用の一部補助	共済	女	20歳以上で 2年毎					3,318		既存	
	18	前立腺がん検診	2-6	検査費用の一部補助	共済	男	50歳以上					348		既存	
精神の疾病 (タイプ3)	19	教職員相談事業	3-1	組合員と被扶養者を対象に県内10か所の医療機関で無料で相談を実施	共済	男女	すべて	男女	すべて		545	（昨年度はコロナウイルス感染症により、受講件数が減少）	既存		
	20	メンタルヘルス講習会	3-2	教職員が安心して働けるための職場づくりの推進を図るための研修会	県・共済	男女	管理職				333		既存		
	21	健康・メンタルヘルス出前講座	3-2	組合員のメンタルヘルスの研修会を依頼のあった所属・部会・各教育委員会ごとに 実施	県・共済	男女	すべて				1,102	（昨年度はコロナウイルス感染症により、受講件数が減少）	既存		
	22	心のセルフチェックシステム	3-3	自分自身のストレスが把握でき、心のセルフケアとして実施	共済	男女	すべて				-		既存		
歯の疾病 (タイプ3)															
季節性疾患 (タイプ3)	23	予防接種の実施	3-6	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施することで、感染予防を行うこと。	互助会	男女	すべて				-		新規		
その他 (共通)	24	教職員健康相談24	4-1	健康医療などの相談に24時間対応	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	-		既存	

⑤事業の年度計画

健康課題	事業		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	No	名称						
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	目標実施率：81%	目標実施率：82%	目標実施率：83%	目標実施率：88%	目標実施率：89%	目標実施率：90%
	2	人間ドック	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	3	頭部MRI・MRA	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	4	特定保健指導（個別契約）	目標実施率：40%	目標実施率：41%	目標実施率：42%	目標実施率：42%	目標実施率：45%	目標実施率：45%
	5	特定保健指導	目標実施率：8%	目標実施率：9%	目標実施率：10%			
	6	健診結果個別通知	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	7	ライフプランセミナー	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	8	健康増進セミナー	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	9	受診勧奨【2次予防】	保健指導対象者により実施するため、実施無の年もある			継続実施（保健指導対象者により実施するため、実施無の年もある）	継続実施（保健指導対象者により実施するため、実施無の年もある）	実施方法・体制の見直し
	10	健康・メンタルヘルス出前講座	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	11	ウォーキングクラブ	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	12	禁煙クラブ	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
悪性新生物 (タイプ2)	13	胃がん検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	14	大腸がん（検便）検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	15	肺がん検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	16	乳がん検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	17	子宮がん検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	18	前立腺がん検診	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
精神の疾病 (タイプ3)	19	教職員相談事業	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	20	メンタルヘルス講習会	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	21	健康・メンタルヘルス出前講座	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
	22	心のセルフチェックシステム	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
歯の疾病 (タイプ3)								
季節性疾患 (タイプ3)	23	予防接種の実施	実施方法・体制の検討	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し
その他 (共通)	24	教職員健康相談24	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し